

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあすも富岡		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 27日		～ 令和8年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 27日		～ 令和8年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童1人1人に合わせた個別的に対応しての療育。	アセスメントをしっかりと行い、児童が楽しみながら取り組める活動を心掛けている。	職員間の情報共有をさらに密にするためのコミュニケーション。
2	忙しい保護者になり積極的に外出することで、楽しみながら社会スキルを育てる。	児童の状況に応じ個人と集団に分けてバランス良く対応している。	幅広く外出活動出来るために施設の見学。
3	着替え、歯磨き、食事、トイレトレーニング等、生活スキルの向上。	児童に合わせて環境設定をし習慣化出来るようにしている	学校や併用先と情報共有し関係機関と統一した支援をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者年齢層や特性の違いの幅が広い為、同年代と余暇を行いたい等のニーズに沿うことができない。	個別対応の利用者を受け入れしている為、時間や人員の余裕がない。	スケジュールや人員の配置の工夫を行いながら他事業所との交流や、児童館のイベントへの参加。
2	スタッフの定着	・児童に対し個別対応するために必要とされる支援者側の知識や対応スキルの獲得は簡単ではなく時間と経験を要するが、そこに至るまでに辞めてしまう職員もいる。 ・事業所スタッフそれぞれが同じ視点で児童に対する事が必要だが、その視点も個人差が出てしまう事がある。	・研修での定期的な学びの場を提供し、全体として一定の水準を保てるようにする。 ・余裕のある人員配置により職員の心身の安定を図る。
3	イベント等、ひと月で予定を立て保護者へ伝えることが難しい。	外出する活動は天候に左右される。その為中止や変更が苦手な児童(中止・変更のトレーニングは行っているが)に対し配慮している。	変更が苦手な児童は保護者のみに伝えるなど、対応策を検討している。